

サプライサイド構造改革再論

田中 修

はじめに

習近平総書記は1月22日午後、中央政治局集団学習会を開催し、サプライサイド構造改革を深く推進することについて、国家発展・改革委員会マクロ経済研究院の陳東琪研究員から講義を受けた。12月の中央経済工作会議でもサプライサイド構造改革は議論されており、さらに集団学習会で議論されたことは、未だにこの中身が詰め切れていないことを示すものであろう。

本稿では、その際の習近平総書記の講話の概要を紹介する（新華社北京電 2017年1月22日）。

サプライサイド構造改革を深く推進することは、当面わが国経済が発展するためにしつかり取り組まなければならない一大事である。

今年はサプライサイド構造改革を深化させる年であり、このため政治局は新年早々集団学習を進めている。その目的は、サプライサイド構造改革で得た成果を分析し、サプライサイド構造改革が直面する重点・難点を明らかにし、サプライサイド構造改革を推進する具体措置を検討することである。

総合的に分析すると、現在わが国の経済発展を制約している要因は、周期的・総量的なものもあるが、主として構造的なものである。構造的問題は、供給・需要両サイドにあるが、矛盾の主要な方面は供給サイドにある。

サプライサイド構造改革は、全局に関わり、長期に関わる堅塁攻略戦である。我々は、既存の施策と成果の基礎の上に、目標・任務・方式・政策・ルート・措置等の方面で深く実施し、不断に実質的な進展を得なければならない。

サプライサイド構造改革を推進するには、いくつかの重大関係をうまく処理しなければならない。

（1）政府と市場の関係をうまく処理しなければならない

資源配分における市場の決定的役割を發揮させ、政府の役割を更に好く發揮させることは、サプライサイド構造改革を推進する重大原則である。

我々は、市場ルールを遵守し、市場メカニズムを用いて問題を解決するのみならず、政府に勇気をもって責任を担わせ、自身がすべき事をしっかりさせなければならない。市場の役割と政府の役割は相互補完的であり、相互促進的であり、互いに補充するものである。

資源配分における市場の決定的役割を發揮させることを堅持し、市場メカニズムを整備

し、業種独占・参入障壁・地方保護を打破し、市場の需要の変化に対する企業の反応・調整能力を増強し、企業の資源・要素配分の効率と競争力を高めなければならない。

政府の役割を発揮させることは、単純に行政命令を下達することではなく、市場ルールを尊重する基礎の上に、改革を用いて市場の活力を奮い立たせ、政策を用いて市場の予想を誘導し、計画を用いて投資の方向を明確にし、法治を用いて市場行為を規範化しなければならない。

(2) 短期と長期の関係をうまく処理しなければならない

現在に立脚し、長期に着眼して、当面の際立った矛盾の解消から着手し、長期に有効な体制メカニズムの構築、中長期的な経済成長動力の再構築から着眼し、戦略上持久戦を堅持するのみならず、戦術上殲滅戦をしっかりと戦わなければならない。

戦略上は、安定の中で前進を求めることを堅持し、トップダウン設計をしっかりと行い、テンポ・程度をしっかりと把握し、じっくりと功績を挙げなければならない。戦術上は、実地的な事に取り組み、実効を重視し、一步一步陣地を固めながら進撃し、一つ一つ攻略しなければならない。

蛹を破り蝶になるには傷・痛みを伴い、サプライサイド構造改革で出現する短期的な陣痛は、受け容れなければならない陣痛であり、陣痛があるからといって前進の歩みを止めてはならない。社会の予想を合理的に誘導し、できる限り陣痛を抑え減らし、企業債務を適切に処置し、人員の再就職をしっかりと行い、社会をしっかりと底固めし、社会の調和・安定を擁護しなければならない。同時に、新たな動力メカニズムを育成する上で方策をめぐらし、十分に精魂を傾け、体制メカニズムの建設に力を入れ、市場主体の内生的な動力・活力を奮い立たせなければならない。

(3) 引き算と足し算の関係をうまく処理しなければならない

引き算とは、ローエンドの供給と無効な供給を減らし、生産能力を減らし、在庫を減らし、レバレッジを引き下げ、経済発展のために新たな余地を残すことである。足し算とは、有効な供給とミドル・ハイエンドの供給を拡大し、脆弱部分を補強し、民生を優遇し、新技術・新産業・新製品の発展を加速し、経済成長のために新たな動力を育成することである。

引き算にせよ足し算にせよ、根本的原因を把握し、力を適切に使い、的を定め、精確に、適度に行うことを際立たせなければならない。引き算は一刀両断にやってはならず、精確に減らし、誤って人を傷つけてはならない。足し算はどっと積み上げてはならず、強い刺激とバラマキを避け¹、新たな重複建設を避けなければならない。

社会が急いで必要とする公共財・公共サービスを増やし、都市・農村、地域間の公共サービス水準の格差を縮小し、脱貧困の堅塁攻略を強化しなければならない。ストックの調

¹ これは、しばしば李克強総理が強調していることである。

整をフローの最適化と有機的に結び付け、伝統産業の改造・グレードアップを新興産業の育成と有機的に結び付け、実体経済を振興しなければならない。経済競争力というカギ、消費のグレードアップという方向、サプライサイドの不足、社会発展のボトルネック・制約等の問題をしっかり軸足に据え、イノベーションのチェーン・産業チェーンを統一的に企画・手配し、イノベーション能力を全面的に高め、経済成長に対する科学技術の貢献度を高めなければならない。

(4) 供給と需要の関係をうまく処理しなければならない

供給と需要は、市場経済の内在関係の 2 つの基本方面であり、供給サイドと需要サイドはマクロ経済を管理・コントロールする 2 つの基本手段である。

経済政策は、供給サイドを重点にするにせよ、需要サイドを重点にするにせよ、マクロ経済情勢に依拠して選択しなければならない。二者択一の関係ではなく、相互に組合せ、協調して推進しなければならない。サプライサイド構造改革を推進するには、需要サイドの管理という重要な手段をうまく用いて、供給サイドの改革と需要サイドの管理を相互に補完させよい効果を上げ、サプライサイド構造改革のために良好な環境・条件を提供しなければならない。

志がたやすく成ることを求めてはならず、事が困難の中で進むことを避けてはならない。各地方・各部門は、必勝の信念を必ず樹立し、困難を知っても進み、新たな問題を注意して発見し、検討・解決しなければならない。困難があるからといって不作為は許されず、リスクがあるからといって避けることは許されず、陣痛があるからといって前進しないことは許されず、サプライサイド構造改革を断固として前進させなければならない。

(2月1日記)